

令和 6 年度

事業者番号	0284	事業所番号	028400
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	株式会社リテラ 秩父第二工場	前年度における事業所数	2
代表事業所所在地	市区町村	秩父市	
	字・地番	みどりが丘29-2番地	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	23 非鉄金属製造業		
分類番号(中分類)	23		
事業活動の概要	自動車用・建設機械用等のアルミ部品の製造加工		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	~	6	年度	
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	基準となる排出量	440	t-CO <sub>2</sub>	基準となる原単位	0.5570	t-CO <sub>2</sub> /t/年
	第2計画期間 H28~31年度の平均排出量440t-CO <sub>2</sub> (H28:386t H29:502t H30:476t H31:397t)に対し R6年度末までに5%以上削減する。又、原単位(生産重量)についてはH31年度(397t-CO <sub>2</sub> /712.729t=0.5570)に対し R6年度末までに5%以上削減する。						
	その他ガス						

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	~	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	基準となる排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準となる原単位	
	第3計画期間 R2~6年度の平均排出量に対し、R11年度末までに10%以上削減する。又、原単位(生産重量)についても R11年度末までに10%以上削減する。					
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	株式会社リテラ 秩父第二工場	秩父市みどりが丘29-2番地
2	株式会社リテラ 本社棟	秩父郡小鹿野町両神薄2703番地
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

## 3 事業所の温室効果ガス排出量

## (1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	136	174	179	196	

## (2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	基準	計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	440	278	350	359	395	
前年度比 (%)		—	25.9	2.6	10.0	
基準となる排出量に対する削減率 (%)		36.8	20.5	18.4	10.2	
その他ガス	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		278	350	359	395	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO<sub>2</sub>）CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>/指標)

	基準	計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位	0.5570	0.6684	0.3254	0.2795	0.2587	
前年度比 (%)		—	-51.3	-14.1	-7.5	
基準となる原単位に対する削減率 (%)		-20.0	41.6	49.8	53.6	
活動規模の指標単 位						
熱処理生産重量	t/年	415.90	1,075.56	1,284.44	1,527.04	

(4) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	2019年度：397t-CO <sub>2</sub> 2020年度：278t-CO <sub>2</sub> 30%削減 受注生産量が減少した為エネルギー使用量が減少、伴いCO <sub>2</sub> 排出量も減少した。
令和3年度 (2021年度)	2020年度：278t-CO <sub>2</sub> 2021年度：350t-CO <sub>2</sub> 26%増加 受注生産量が増加した為エネルギー使用量が増加、伴いCO <sub>2</sub> 排出量も増加した。
令和4年度 (2022年度)	2021年度：350t-CO <sub>2</sub> 2022年度：359t-CO <sub>2</sub> 3%増加 受注生産量が増加した為エネルギー使用量が増加、伴いCO <sub>2</sub> 排出量も増加した。
令和5年度 (2023年度)	2022年度：359t-CO <sub>2</sub> 2023年度：395t-CO <sub>2</sub> 10%増加 受注生産量が増加した為エネルギー使用量が増加、伴いCO <sub>2</sub> 排出量も増加した。
令和6年度 (2024年度)	

## 4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	第二工場:事務所食堂照明 直管蛍光灯のLED化	R5	R5	0.1
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	第二工場:作業場照明 直管蛍光灯のLED化	R5	R5	0.2
3	360700	ポンプ、ファ ン、ブロー、 コンプレッ サー等	36_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	第二工場:コンプレッサー付帯 エアードライヤーの更新	R5	R5	0.6
4	490200	その他	49_その他の削減対 策	第二工場:加工設備の不稼働時間帯 待機電力削減	R6		1.1
5							
6							
7	130200	空気調和設 備・換気設備	13_空気調和設備の 効率管理	本社棟:事務所食堂エアコン 定期フィルター清掃	R5	R5	0.2
8	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	本社棟:事務所食堂照明 未使用時 不要カ所の消灯	R5	R5	0.5
9	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	本社棟:2F測定室 天上照明 直管蛍光灯のLED化	R5	R5	0.2
10	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	本社棟:2F製造事務所 天上照明 直管蛍光灯のLED化	R6		0.2
11							
12							
13							
14							
15							